

様式第二号の八（第八条の四の五関係）
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 12 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県大和郡山市横田町81番1	
氏 名 株式会社アイ工務店 奈良支社	
支社長 矢野 広明	
電話番号 0743-85-5853	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社アイ工務店 奈良支社
事業場の所在地	奈良県大和郡山市横田町81番1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業／総合工事業／木造建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 38.6億円
③ 従業員数	45人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	新築廃棄物→各現場で発生した廃棄物は委託収集運搬にて回収し、委託集積場に集め、処理委託業者にて処理。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社現場推進部



奈良建設部長（廃棄物処理総括責任者）



奈良工事管理部（産業廃棄物管理担当）



工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 工事担当が各現場に指示・確認。 処分場にて邸別に実数量を計測し週1回の報告を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 施工方法の具体的改善により廃棄物を各工程より削減する。 現場巡回にて余分なものを廃棄していないか現状を把握し 適正数量での納材を指示する。 性の向上と廃棄物量が平行しないよう細分化を図る。		

生産

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（コンクリート塊）、木くず、段ボール、プラスターボード、混合廃棄物に分別指導を行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の分類精度向上を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(株)アイエ務店 奈良支社

[illegible]